

パーキンソン病を理解しよう —臨床と病態評価の最前線—

日時

1月21日(木) 午後2時30分~4時

入場無料

場所

一橋講堂 (東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 神保町駅 徒歩4分
東京メトロ東西線 竹橋駅 徒歩4分)

東京都医学総合研究所 運動障害プロジェクト プロジェクトリーダー 笥 慎治

パーキンソン病の病態は、日により、時刻により、変動します。そんな病態を、来院時だけでなく、自宅でも簡便に計測して変化を追跡できれば、その人にあった治療法の判断・選択に役立つデータとして活用できる可能性があります。

本講演では私達が織茂先生と共同で開発中の、パーキンソン病の定量的評価システムについて紹介させていただきます。

公立学校共済組合 関東中央病院 神経内科 部長 織茂 智之

パーキンソン病はさまざまな運動症状や非運動症状が出る病気です。「難病」というイメージが強いせいか、パーキンソン病と診断されると少なからずショックを受ける患者さんがいます。しかし病気そのものを完全に治すことはできませんが、薬やリハビリを併用する事により、普通に暮らすことが十分に可能です。病気を悲観的にとらえず、前向きに取り組んでいただきたいと思います。そのためにもパーキンソン病を正しく理解することが大切です。

定員 抽選 500 名

申込方法 往復はがきにて (1通につき2名様まで)

〒156-8506 東京都世田谷区上北沢 2-1-6 東京都医学総合研究所 事務局 普及広報係宛
住所・氏名(ふりがな)・同伴者氏名・電話番号・「1月21日開催 第7回都民講座希望」とご記入ください。要約筆記ご希望の方は【要約筆記希望】とご記入ください。
※記入漏れがありますと無効となる場合があります。

申込締切 1月4日(月) 消印有効

問合せ先 事務局 研究推進課 普及広報係 TEL 03-5316-3109 FAX 03-5316-3150

主催 公益財団法人東京都医学総合研究所

